

精華町教育委員会会議録

平成27年（第11回）

1 開 会 平成27年10月28日(水) 午前9時30分
閉 会 平成27年10月28日(水) 午前10時30分

2 出席委員 伊藤委員長 中谷委員 細川委員
太田教育長 (欠席委員：蓑毛委員)

3 出席事務局職員
岩橋教育部長 竹島学校教育課長
仲村生涯学習課長 北澤総括指導主事
山崎学校教育課係長

4 傍聴者 なし

5 議事の概要

(1) 開会

委員長から第11回教育委員会の開会を宣言。

(2) 前回会議録について

教育部長から平成27年第10回教育委員会の会議録について説明。

【意見等】

・特になし。

【採 決】

・全員承認。

(3) 教育長報告事項

木村町政4期目スタートにあたり、初登庁後の部課長会議で町長から公約に基づく6つの政策の実現に向けて訓示があった。その要旨についてであるが、キャッチフレーズは、「学研都市を活かした“まちづくり”を推進し、ふるさとを”ここ(精華町)”と誇れるまちをつくりまします」というもの。

基本姿勢として、「命と希望を未来につなぐ」というテーマで、「～

みんなで“力を合わせれば”きっと希望が～”という姿勢を大事にしていきたいということだった。6つの政策としては、1つ目に「活力と魅力あふれるまちづくりを進める」ということ。2つ目に「安全・安心のまちづくりを進める」ということ。3つ目には教育に関わる内容で、「人を育むまちづくりを進める」というもの。内容として、一点目に「子どもは国の宝、みんなで守り育てるまちづくりを進める」、二点目に「科学のまちの子どもたち」プロジェクトの定着、これが学研都市精華町の特色を生かす事業として進められてきているので、一層定着をさせていきたいということ、三点目に、「小・中学校の教育環境の整備」。まずエアコン設置を優先して行い、さらには中学校給食の実現に向けて、財源の確保に全力を挙げていきたいということであった。4つ目は、「子育てしやすい健康長寿のまちづくり」、5つ目に、「未来を見越したまちづくり」、6つ目に「行財政改革を引き続き推進する」、という6つの重点的な政策を示された。

(4) 議決事項

なし

(5) 諸報告

教育部長 1 総合教育会議について

2学期中に目標としている作業として、教育大綱の策定と教育委員会評価がある。評価にあたっては、教育長報告でもあったように、木村町政4期目がスタートしているところなので、12月中には今年度2回目の総合教育会議の開催ができるように日程調整を進めたいと考えている。その総合教育会議に先立ち、11月11日に、協議会を予定しているので委員の皆様にお集まりをいただき、大綱と教育委員会評価の素案について相談をしたいと考えている。

総括指導主事 1 生徒指導報告について

9月の報告について、小学校の問題事象では計3件で、非常に少なく落ちついて学校行事等取り組んでいるとい

うことがわかる。不登校については16件で、7月から3件増加している。6月時点の調査と同数となっている。

続いて、中学校は、生徒指導件数は8件、9月のスタート時点では非常に件数が少なく、学校生活を落ち着いて過ごしている。不登校は30件で、7月調査の27件を上回り、非常に多い値になっている。小中学校全体としては、小学校の16件と合わせて、46件というのは非常に多い。今後も引き続き不登校や子供の状況について各学校と連携をとりながら進めていきたい。

総括指導主事 2 全国学力・学習状況調査の小学校の分析について

大まかな特徴だが、国語については、A問題、B問題とも全国平均を上回っている。特にA問題のほうで全国よりも5.3ポイント高かった。分布の関係で見ると、B問題では、正答が0問というところが高く、解けてない子もおり、二極化している。その点に焦点を当てていかなければならない。領域・観点については、おおむね全体にバランスよく力がついている。

算数についてもA問題、B問題とも全国を上回っている。算数についてはA問題よりもB問題のほうが全国よりも高く、5.6ポイントほど高くなった。ただし、B問題で正答数が2問、3問と苦手に行っている子もいるので、注目していかなければならない。観点等については、国語と同様バランスよく習得されている。

次に、今年度から導入された理科だが、これも全国を3.5ポイント上回っている。分布についても、正答数が高いことを示す右側に棒グラフが寄っており、これもよい傾向にある。正答数が0問から10問あたりでばらつきがあるので、この部分にも注目していかなければならない。領域・観点については、おおむねバランスよく点数がとれている。特にエネルギーの分野が平均よりも若干高く、記述式も高いという傾向であった。

総括指導主事 3 山城中学校駅伝大会について

10月17日に行われた山城の中学校の駅伝大会で精華中学校の男子が見事2位になり大健闘してくれた。これにより上位の京都府大会に今後出場するということになっている。

学校教育課長 1 第18回精華町小・中学校文化交流会について

11月5日木曜日の午後1時15分から京都府立けいはんなホール、メインホールで開催される。例年、各小学校の演奏が行われた後に中学校合同演奏が行われているが、今年度については、各校ごとに演奏する形をとらせていただく。練習に励んでいるので、その成果を見ていただきたいと考えている。

学校教育課長 2 「だし」で味わう和食の日の取り組みについて

ユネスコの無形文化遺産に和食が登録されていることに関連し、一般社団法人の和食文化国民会議が、11月24日の和食の日にちなみ、各小・中学校の学校給食でも和食の普及と理解を深めてほしいとの要請があった。精華町でも11月20日金曜日の献立が炊き込みご飯、みそ汁で、大豆を使った料理もあることから、この日に、だしで味わう和食の日の取り組みを各小学校5校で行いたいと考えている。各クラスで担任の先生から給食の時間を活用し、みそ汁に使われているみその話や大豆の話、また地産地消という面で、精華町産のものを使っているということも伝えていきたい。食事の時間中についても、子供たちと一緒に和食の話をすすめる。これまでも食べ物通信や給食だよりなどの文書で、和食に触れてきているが、振り返りも行ってこの日の取り組みを充実させるとともに、給食時間中での話を家庭で保護者の方と一緒に考えてもらえるように指導していく。

学校教育課長 3 精華中学校の収穫祭について

10月31日に開催される。回を重ね第6回という形で、秋の地域の風物詩として定着してきた。新しい校舎

も完成したので、この機会に学校のほうも見ていただきたいと考えている。

学校教育課長 4 精華中学校吹奏楽部全国大会出場決定について

11月1日に東京都で行われる第21回日本管楽合奏コンテストへの出場が決まっている。先生方も部員と一緒に精いっぱい頑張ってくるとのことなので、ご支援のほうをよろしく願いたい。

学校教育課長 5 京都府下学校のコンクリート杭工事の調査について

旭化成建材株式会社の杭打ち工事でマンションが傾いてきたという事象を受け、過去10年間にコンクリート杭工事を京都府下の学校で実施しているかどうかの緊急調査を行ったところ、京都府内の学校で4件報告されている。精華町では、この10年間で精華西中学校の増築が2件、川西小学校の改築、精華中学校の改築の計4件の工事があった。いずれも該当はせず、安全が確保されていることを確認している。

学校教育課長 6 学校の消防設備、施設維持管理点検について

小・中学校の消防設備や施設維持管理点検で、多くの学校において不具合があると会計検査院から指摘が出ているという報道がされている。精華町については建築基準法による校舎の外壁や教室の天井部分の劣化に関する調査についても特に問題はない。また、消防法に基づく消火器や屋内消火栓などの設備点検についても毎年実施しており、不備等があれば、その都度適切な修繕等を行っている。この報道による会計検査院の指導部分についても、本町については特に問題がないということで報告させていただく。

生涯学習課長 1 精華マラソンについて

11月1日にむくのきセンター発着で実施する。今回からチップを使用した計測方法による実施で、参加者総数が450名と、前回に比べて約百数十人増加している。2キロ、3キロ、5キロ、10キロのコースを設ける。

生涯学習課長 2 青少年健全育成協議会について

第2回の支部長会を開催し、青少年健全育成協議会の支部長に対し、せいか祭りでのティッシュ配り啓発、こども祭りの開催についての応援依頼を行った。また、11月4日に精華町の議会報告会が開催される。全体会では議会の動きが報告されるが、第2部の分科会で、これからのまちづくりのために、「青少年と地域」というテーマを掲げて、主に青少年健全育成協議会のメンバーに意見交換をしていただくという催しが11月4日の夜7時より開催される。内容を見に来ていただきたい。

【委員の意見等】

伊藤委員長 「だし」で味わう和食の日の取り組みに協力校募集とあるが、協力させてもらう旨や何か後で報告するとか、そういうものがあるのか詳しく教えてもらいたい。

学校教育課長 後でアンケートなどを送るなど必要だと思うが、まだ具体的には来ていない。

伊藤委員長 新たに献立など組み直しての実施か、既定のものを利用するのか。

学校教育課長 献立は既定のものを利用する予定。11月中に取り組んでほしいということだったので、学校と調整して、献立を見ながら取り組みに位置づけられるもので行うこととした。特別にこれのためにメニューの追加や工夫することとはしていない。みそや大豆は町産であることを改めて周知するということになる。

伊藤委員長 不登校について件数が多いとの報告であったが、小・中学校8校、それぞれの学校で取り組んでおられる実態を学校訪問で把握させてもらった。精華町の場合、問題を放置しているような不登校ではなく、精いっぱい学校を挙げて改善の努力が行われている。それでも限界があり、ここから先はなかなか踏み込めないという真相のところもあったし、不登校の報告に上がらないような事象についてもきめ

細かな対応をとるなどの前向きなものもあった。単に数値だけで判断するのではなく、それぞれの学校の取り組みを我々委員もしっかりと受けとめさせてもらった。子どもを守る町宣言に基づいた取り組みをしていると実感できた。

(6) 後援関係

9月から10月に受け付けた教育委員会後援事業の報告は、総数8件、学校教育課関係は1件、生涯学習課関係が7件、うち社会教育係関係が6件、図書係は0件、体育係関係は1件。

(7) 11月の行事予定

(8) 閉会

委員長が第11回教育委員会の閉会を宣言。